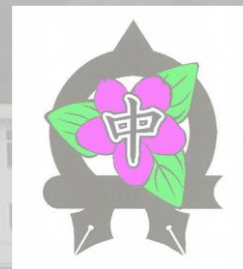


協働



令和6年3月15日発行

奥多摩町立奥多摩中学校

「奥多摩中学校に通う」ということ

校長 原 善哉

3年生の皆さん、卒業おめでとう。いよいよ義務教育を離れ、学ぶことも、働くことも、何をするにもすべて自分のために自分で決める、未来に、自分に、責任をもつ世界が始まります。行動範囲も人間関係も広がりお小遣いではない自分で稼ぐ経済力を手に入れ、3年後には成人として選挙権も得られる。高校を卒業する頃には、社会人になる人もいるでしょう。これからは、できることが増えていく毎日に大きな喜びを感じていてください。そして幸せな大人になってください。奥多摩中学校はいつまでも皆さんを応援し続けます。

東京都一広い学区の奥多摩中学校。生徒達は町場の中学生達よりも朝早く家を出て、徒歩だけでは行けない遠い道のりを遅刻せずに登校している。それをご家族が毎日支えている。この事実は本当にすごいことだと、この学年末に改めて言いたいです。天候の良くない日の登下校は更に大変であり、ご家族の協力も欠かせないことでしょう。まさに「奥多摩中学校に通う」ということには、それ自体が鍛錬であり、精進であり、大きな学びがあります。意気を感じて登校してくる生徒達を「今日もよく来たね!」と心から応援してあげたい。

その大変さを理解しつつも、2/6の雪の日は、登校できることを期待しましたが2時間遅れ、昼から、と時程を繰り下げた末にバスが復旧できず休校といたしました。その前日の下校時には雪のため青梅線が止まり、下校時間を早めれば生徒の帰宅困難を回避することができました。また3/8は雪予報のため青梅線が計画運休しバスに振り替えての登校をお願いしました。これらの状況が二転三転するたびに生徒のみならずだけでなく保護者の皆様、ご家族の皆様にも、ご心配をおかけする事になってしまい、心苦しく思っております。

よく登校
しましたね。
危ないことは
ありませんでしたか

本当に、天候や降雪状況を予測し、授業を切り上げることや休校にすることは生徒の安全上とても大切なことです。常に細心の注意を払い判断してまいります。ただ休校等が実施されたときに、生徒達に届けることができない授業時間が出ることに心痛みます。それぞれの授業には生徒達に伝えたい価値があり、週に一時間しかない授業もあります。学級閉鎖等による授業カットは断腸の思いです。故に天候と交通と安全と授業とを、ぎりぎりまで天

小さな困難を
数多く越える事は
必ず大きな勝負に
勝つ力と成る

秤にかけて判断します。少しでも可能性があれば休校にも授業カットもしたくない。例え登校が困難であっても「中学生(大人)として万難を排して登校できる」ならば、登校してほしいと思っています。だからこそ私たちは、そんな中やっとの思いで登校した生徒達が「やっぱり今日も来て良かったよね」と思える学校でありたい。そんな授業を展開していくことに努めたい。そして生徒達には「奥多摩中学校に通っていること、通っていたこと」に自信と誇りをもってほしいと、心から願います。

最後に改めて、奥多摩中学校を支えてくださる保護者・地域の皆様に深く感謝し、決意を新たにして次年度へとつなげます。令和5年度、ありがとうございました。